

Comparison of 5-day MTX and 5-day ETP treatment results and early predictors of drug resistance to 5-day MTX in patients with post-molar low-risk gestational trophoblastic neoplasia

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木崎, 尚子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032087

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2959 号	氏 名	木 崎 尚 子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	丸 義 朗	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>侵入奇胎は局所浸潤に加えて肺などへ遠隔転移も起こすが、一般的に化学療法感受性である。転移を伴うがんの場合予後は極めて不良であり、世界的に大きな問題となっている。すなわち、転移する可能性のある疾患の治療対策に、本論文は一つのモデルを提供する。絨毛がんの一部が奇胎に続発することを考えると発癌シーケンスの存在が想定されるため、早期の適切な化学療法を悪性転換予防法と理解することもできる。従って、MTX 単剤による抵抗性予想は重要であり、全身的な画像診断や侵襲的な方法による遺伝子解析をせず、バイオマーカーによって早期に予想することは、無益な治療期間を節約できる優れた方法と断言できる。MTX 抵抗性の機序は今後遺伝子解析などによって解明が期待される。本論文は学位授与に値する。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			